

地理データテンプレートの作成と使用



TNTmipsの空間エディタで編集用に直接開けるオブジェクトであればどれも、テンプレートとして開いたり保存して、似通ったオブジェクトを作るのに利用できます。テンプレートオブジェクトは、それが作成されたオブジェクトと同じジオリファレンスとデータベース構造を持ちますが、図形テンプレートの場合は要素、ラスタテンプレートの場合はセル値がありません。テンプレートは作成元のオブジェクトと同じデータ形式になります。例えば、新規ベクタオブジェクトなら座標タイプやトポロジーレベルが同じですし、新規ラスタオブジェクトならセルタイプ（ビット深度、符号の有無、コンポジットカラーなど）が同じになります。E00やカバレッジ、シェイプファイル等を、エディタの「オブジェクト(Object)」>「外部データを開く(Open External)」を使って開いた編集可能な地理データは、ベクタテンプレートとして保存できます。DXFやDWG、DGNおよびTAB等の編集用に直接開ける外部CAD形式のテンプレートは、プロジェクトファイル形式のCADオブジェクトとして保存します。

ラスタテンプレートには、コントラストテーブルやカラーマップ、編集と表示用パラメータサブオブジェクトが含まれます。分類ラスタであれば、スタイルオブジェクトも含まれます。図形テンプレートには、スタイルオブジェクトや表示および編集用パラメータサブオブジェクトや、下で説明するようなデータベーステーブルを含みます。スタイルオブジェクトとスタイル割り当てテーブルの両方があるので、テンプレートから作った新規オブジェクトに要素を加え、元のオブジェクトでスタイル用に使われていた属性を与えると、新しい要素には自動的に元のスタイルが割り当てられます。

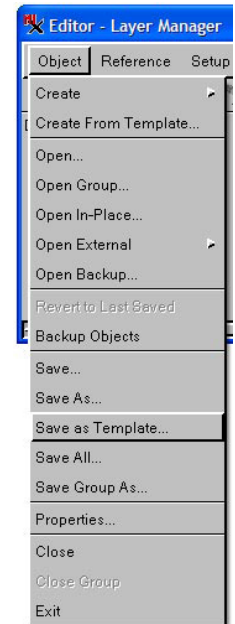
データベース構造の保持というのは、単に全てのテーブルをコピーすることではありません。図形テンプレートには要素が全くないので、要素に直接アタッチするテーブルにはレコードがありません。これらのテーブルは元の全てのフィールドを持ち、元のオブジェクトと同じ関係のテーブルを持っています。レコードを全てコピーして持つテーブルは唯一、アタッチタイプが「リレートのみ (related

only)」のテーブルです。

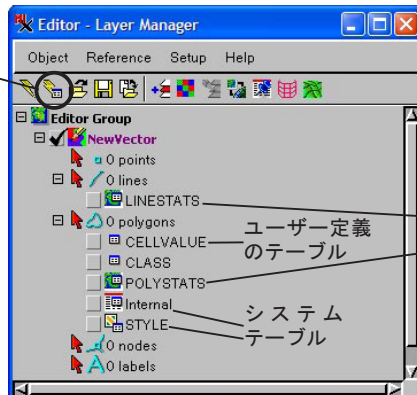
他のオブジェクトのテーブルで要素に直接アタッチするテーブルがあって、その中のレコード値をテンプレートでも使いたい場合は、「リレートのみ」のアタッチタイプのテーブルを使うデータベース制約を設定して、値一覧として利用することができます（テクニカルガイドの“データベースフィールド値の制限 (Constraining Database Field Values)”をご覧ください）。

元のオブジェクトに標準属性テーブルがあると、テンプレートに対しても標準属性テーブルが作成されますが、レコードは持っていません。テンプレートに要素を加えた場合、標準属性テーブルの中に自動的にレコードが追加され、増えていきます。要素IDテーブル（があれば）とInternalシステムテーブルも自動的にレコードが追加されて増えていきます。スタイル割り当てテーブルのアタッチタイプは「リレートのみ」なので、これらのテーブルにレコードが存在し、上で説明したように、スタイルの割り当てが自動的に行われます。テーブルのアタッチメントタイプについて詳しくは、“データベースのアタッチメントタイプ (Database Attachment Types)”という題名のクイックガイドをご覧ください。

テンプレートオブジェクトを作成するには、エディタで既存のオブジェクトを編集用に開き、「オブジェクト」>「テンプレートとして別名保存 (Save As Template)」を選びます。このようにテンプレートを作成した時、エディタに表示されたまま残っているオブジェクトは、元のオブジェクトです。テンプレートを使って新規オブジェクトを作成するには、「オブジェクトをテンプレートから作る (Create Object from Template)」アイコン（左図参照）をクリックするか、または「エディタ-レイヤマネージャ」ウィンドウのメニューから「オブジェクト」>「テンプレートから作る (Create from Template)」を選びます。



オブジェクトをテンプレートから作る



要素がないことに注意してください。

自動で出来るテーブル

Database Table
Name: RailroadL
Description: attributes from VMap0 (2000)
Attachment: One record per element
Records: 0
Fields: 12

Database Table
Name: Status
Description: Status of object.
Attachment: Related only
Records: 17
Fields: 3

テンプレートオブジェクトのテーブル内容を示すデータティップ。左のデータティップは、元のオブジェクトの要素に直接アタッチされたテーブルに対するものです。テンプレートから作られた新規オブジェクトにはレコードはありませんが、フィールドはすべて定義されています。右のデータティップは「リレートのみ」のテーブルに対するものです。フィールドは全て定義されており、元のテーブルと同数のレコードを持っています。

テンプレートから作った新規ベクタには要素がなく、元のオブジェクトと同じデータベース構造を持っています。

ユーザは作成したテンプレートオブジェクトを選ぶか、または既存の参照用オブジェクトを選び、要素やセル値のないオブジェクトを作成することになります。後者を選んだ場合は、まさにテンプレートを保存する時に要素やセル値を削除し、データベースの調整を行います。データを含むオブジェクトを使って、要素やセル値のない新規オブジェクトを作るには、参照したオブジェクトに加えた変更はそれから作られる次の新規オブジェクトに反映されます。変更を反映した、新規テンプレートを作ることができます。

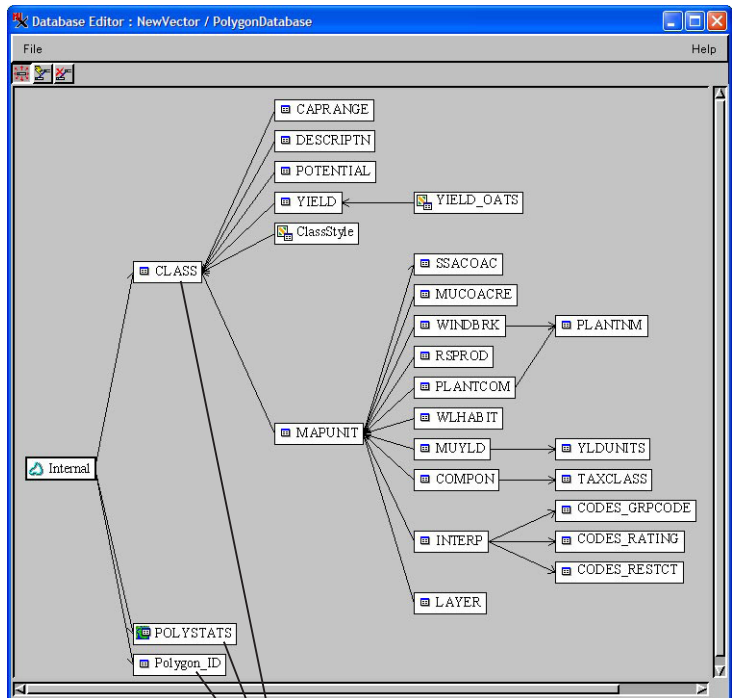
[オブジェクトをテンプレートから作る]を選んだ後、新規オブジェクトに好きなように要素を追加し、属性を割り当てます。テンプレートは再利用を考えて設計されているので、**テンプレートの上に新規オブジェクトを上書き保存することはできません。**

あなたは、例えば Vector Templates/Forestry Projects のように、テンプレートの保管専用のディレクトリを作りたいと思うかもしれません。そうしておけば、同じタイプの新規オブジェクトを作成したいとき、すぐにどこにあるかが分かります。テンプレートオブジェクトには特別なアイコンはありません。テンプレートオブジェクトは元のラスタやベクタ、CAD と同じオブジェクトタイプで、要素やセル値が無いだけだからです。

あなたの専門分野で入手、使用されるテンプレートが既にあるかもしれません。それは他の誰かが画像判読のようなプロジェクトを行ったときの雛型

になるかもしれません。そのような雛型は、他の人がこれから入力する地理データの形式や属性が既に定義してある、まさにテンプレートになります。

下に示されているテーブルの関係は、元のオブジェクトとそれを使って保存したテンプレートで全く同じです。このデータベース中のほとんどのテーブルは「リレーのみ」のアタッチタイプを持っているので、全てのレコードがテンプレート中に保持されます。要素に直接アタッチした3個のテーブルは、テンプレートオブジェクトではレコードがありません。



これら3個のテーブルはテンプレートの中でレコードはありません。

